

弁天の清水

地蔵に衣装

小諸市諸の「弁天の清水」の脇に建つ3体の地蔵尊に、このところ

色の見本帳 樹木染め 651色

小諸市出身・吉岡まさ子さん



小諸・佐久市などで織物を教える樹木染め手織り工房「真麻」主宰の吉岡まさ子さん(60)は、南佐久郡佐久穂町の千手院(伝田公順住職)境内の樹木を染めて作った色の見本

帳「樹の精」を出版した。A4判、226ページの。樹木ごとに3種類の素材に3種類の媒染剤で定着。183種の樹木から染めた651色を平安時代の色名で表記した。また、植物

の写真や説明、作業をしている時の感想も添えた。作業には3年を要した。

撮影・編集は渡辺写真工房(小諸市)の渡辺敏紀さんが携わり、2百冊作成。佐久地方の各図書館に寄贈した。

吉岡さんは「住職の樹木を大切にする姿に感動して始めた。自然に目を向けたことで、木を通して自然の大切さを改めて感じた」と話している。

見本帳は1部1万5千円で販売する。問い合わせは吉岡さん(電話026・258・2158)。

いた。近所の人に聞いてはみたが、誰もその現場を見ていなかったよ。と話す。隣に住む養場幸一郎さん(86)でも「教えても



さんにとってはあり(左) 養場(右)

部 たつたも欠けられな



め 651 色
まさ子さん